

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	中島 清志君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	一宮 努君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	阿比留忠明君
市民生活部長	村井 英哉君
福祉部長	田中 光幸君
保健部長	桐谷 和孝君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	内山 歩君
水道局長	舍利倉政司君
教育部長	扇 博祝君
中対馬振興部長	原田 武茂君
上対馬振興部長	原田 勝彦君
美津島行政サービスセンター所長	藤田 浩徳君
峰行政サービスセンター所長	居村 雅昭君
上県行政サービスセンター所長	田村 竜一君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	勝見 一成君
監査委員事務局長	志賀 慶二君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開議

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

報告します。島居真吾君から欠席の届出があつております。

ただいまから議事日程第5号により、本日の会議を開きます。

日程第1. 市政一般質問

○議長（初村 久藏君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は、2人を予定しております。

それでは、届出順に発言を許します。13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） それでは、皆様、おはようございます。13番議員、政友クラブの波田政和でございます。

私ごとではありますが、2月1日付けで大変お世話さまになっておりました対政会を退会することとなり、残り任期、議員皆様方のお邪魔にならぬよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いしておきます。

また、市長におかれましては、連日の答弁でお疲れとは思いますが、実りのある質疑応答をよろしくお願いしておきます。

本題に入る前に、先日行われました対馬市市長選挙にて、見事、有権者得票数での獲得率87.1%の結果を出していただき、対馬市民皆様方の良識ある判断に感謝申し上げる次第であります。

また、御本人はもとより関係者一同、市民皆様の思いに応えていこうとの決意であると思っております。まずは選挙戦圧勝の結果、誠におめでとうございます。体に御自愛なされ、健康を大事で陣頭指揮を取っていただけるものと信じておりますので、どうぞ頑張ってください。

それでは本題に入っていきますが、このたびの一般質問は、締切りが2月27日ということでありましたことから、市長選の開票結果が出る前でありましたので、それ相応の気遣いをしたの提出でありました。そのことを申し添えておきます。

選挙期間中、双方優秀な方々がどうなるか分からない結果を待ちながらの皆さん、質疑だったと思います。そこを考えていただきながら対処してもらいたいなと思っております。

今回の質疑は、大きく3点通告しております。

1点目は、地域住民の要望であり、通学路関係で、市道堀田線の安全通学路設置及び整備であります。

2点目は、比田勝市長の描く未来創造戦略についてお尋ねいたします。戦略が大きく多岐にわたりますので、近々実現する可能なところから、どのような取組がなされていくのか、具体的に明瞭な説明を求めます。

最後に、安全で安心な島づくりでは、くすぶりが残る核のごみ処分問題ですが、まさに選挙結果が市民の判断・評価であることを如実に示したものだと思っております。したがって、その期待に応えるべく安全で安心な施策を打ち出すべきだと思いますが、市長の考え方、取組を聞きたいと思っております。

専門的な知見でのお話は、昨日も質疑答弁があつておりましたので省略してもらってもかまいません。また、詳細は再質問の時間にまた私なりに尋ねたいと思っておりますので、よろしくお願いしておきます。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） おはようございます。波田議員の質問にお答えいたします。

今、質問の内容で、若干順序が違っておりましたので、私のほうは通告どおりの順番で、まず、市長公約の実現可能な取組の進め方についてから、お答えをさせていただきたいと思います。

私は、この市長選挙におきまして、SDGsの考え方を基軸に、「誰一人取り残さない未来へつなぐ対馬づくり」を掲げ、「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「働きがいも経済成長も」、「住み続けられるまちづくりを」、「パートナーシップで目標を達成しよう」、この5つのテーマで各種公約を掲げて市民に訴えてまいりました。

その中で、議員が言われる実現可能な取組として、早急に進めるものといしましては、人口減少対策に向けた施策でございます。特に若年層世代に向けた結婚支援対策であります。これまでも結婚支援対策として、出会いの場創出やコーディネーターによるサポートなどの取組を進めてまいりましたが、なお一層の充実が必要と感じております。

また、市民の意見や関係部局と協議し、結婚後の初期支援として住宅などの生活支援など、国の事業と絡めながら独自政策を打ち出せないか検討してまいります。

また、出産と子育て環境についても支援が必要であると考えております。医療機関から離れている遠隔地域の出産対応における宿泊施設利用料等の支援拡充や、出産経費の支援、子育てでできる環境づくりや安心して働き続けるための保育環境の充実などを検討してまいりたいと考えております。

次に、移住・定住施策であります。これまでの移住・定住施策の継続はもちろんのこと、Uターンを含めた移住人口の拡大に向けた取組を強化していかなければなりません。特に進学・就職等で都市部に出た、対馬出身者のUターンを促進していかなければならないと考えております。

これは行政の力だけでは難しい点もございますが、働く場所がない、生活環境が乏しいなどの理由から都市部での生活を望む傾向がありますので、移住・定住に向けて市民の皆様にも御協力、呼びかけ等を取り組んでいただけないかと思っております。

行政としては、地場産業の育成や企業誘致等における働く場所の確保、生活環境の整備を取り組んでいく必要があると考えておりますので、あらゆる角度から有効策を見いだしながら対策を講じてまいりたいと思います。

次に、高齢者の支援対策でございます。特に交通・買物支援対策は、対馬で安心して暮らせる環境づくりには欠かすことのできない課題であります。現状の公共交通体系では、通院、買物などの利用に支障が出ていることも認識しており、公共交通体系の見直しや地域ぐるみによる新たな交通手段の構築を協議してまいります。

現在、中地区におきまして、地域ぐるみによる学生、高齢者などの交通弱者の新たな交通手段

を検討しております。このような取組を地域に応じた形で、市内各地域に推進、支援しながら、また、交通事業者とのさらなる連携も合わせながら、対馬の実情に応じた新たな交通手段の確保に取り組んでまいりたいと考えております。

あわせて、その交通手段と買物支援の一体化や民間事業者と連携した移動販売の拡大、新たな買物支援サービスなどの充実に向けた取組も検討してまいりたいと考えております。

早急に取り組まなければならない課題はまだたくさんありますが、最優先施策として、人口減少対策と高齢者対策を早急に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、安心・安全な島づくりにおける高レベル放射性廃棄物関連についてでございますが、今回の市長選挙におきまして各地を回る中で、この案件については市民も非常に高い関心を示しており、私が文献調査を受け入れないという判断をしたことについては、一定の理解、支持を得られたものと思っております。

私もこの選挙期間中、高レベル放射性廃棄物最終処分事業に係る文献調査については、今後受け入れないということで申し上げてきました。そういった中で、議員がおっしゃる対馬市としての高レベル放射性廃棄物関連の一定の見解、判断を示す放射性廃棄物等の持込み拒否等に関する条例の制定についてでございますが、私としましては、条例制定については、今後の対馬市においての大きな問題であり、条例制定も検討していかなければならないと考えております。

昨年、この問題については、文献調査を受け入れないと一定の判断をいたしました。今後とも再燃する可能性もあり、再度市民を分断する動きに発展する可能性もあります。

しかしながら、この放射性廃棄物等の持込み拒否等に関する条例の制定につきましては、条例の内容等を含め、十分な議論と市民、そして市議会の理解が必要であると考えておりますので、そういった動向を勘案しながら前向きに検討してまいりたいと思っております。

最後に、市道堀田線の通学路整備についてでございますが、本路線は、久田地区の郵便局厳原集配分室付近を起点とし、厳原拘置支所付近を終点とします延長約412メートル、幅員が約4メートルから5メートルで、住宅街を通る重要な市道でございます。終点から奥側には採石場もあり、大型車両も頻繁に往来している状況でございます。

また、議員御指摘のとおり、通学路としても設定されていることから、30キロメートルの速度制限がなされているところでございます。

しかしながら、対馬南警察署、通学路が該当する学校、市教育委員会並びに管理課などから構成する関係機関におきまして、通学路交通安全プログラムに基づく通学路合同点検の中で要対策に位置づけられており、また、家屋が連担している路線であることを考慮し、市といたしましてもその対策を検討してまいりました。

本年度、国へ補助金等を要望し、令和6年度より本路線を含めます市道4路線におきまして、

緊急的な交通安全事業を進めていく予定としております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。それでは、今ほどの話から、道路の話から先に入りたいと思います。

初めに、この久田地区内は、先ほどの説明では、市道久田2号線と堀田線は場所がちょっと違うのかなと。一緒につながっておりますけどね。まず、この市道久田2号線が、皆さんの御尽力により、久田の郵便局から小中学校までが拡張工事が予算化されているようにあります。地域の皆さんも喜んでおりますので、早期着工、完成を強く要望しておきます。

また、私が今回、質疑しているのは、同じ地区であります、市道堀田線。これは、今、市長も説明がありましたように、県道から分岐して住宅が密集しております。奥に行きますと、採石場がある場所ですね。

ここは、地域住民の方から、先ほども説明がありましたとおりなんですが、速度制限は確かななされております。しかしながら、今、申しますように通学路としての区分がまだありません。今年度予算の中でいろんな対策は取っていただけたというようなお話も聞いておりますけれども、ここに至って、通学路も含みますが、学校の下校時、遊ぶ場所も同じことなんですね。ここを中心として皆さんが遊んでありますよ。そういう中で、苦情がある中でも、また、そこを頻繁に利用してある事業所などは、自社対策を取りながら危険回避に力を入れてあるところもあります。

しかしながら、この一般車両も、住民が多く住んでいる以上はたくさん行き来しますよね。そういう中で、今、話がありますように距離が長いんですよ。こういう中で両方に住宅が密集しております。離合するのにも他人様の屋敷を利用する以外にないんですよ。そういうふうな狭隘な場所でございますから、何とか安全対策が急務であるということで、今回取り上げさせていただいております。

昔と違って、この大型車両も若干少なくなはってきております。しかしながら、そこに住んでいる方は、同じ危険を感じるということのお話がっておりますので、今回予算化はなっておるようにもありますが、何とか啓発活動といいますか、これを早急をお願いしたいわけですよ。何かあってからは遅いので、その辺をスピード感を持って、市長、取り組んでいただきたいと。

どういう形になるかというのは、今後のいろいろ地域の人たちを巻き込んだ対策になると思っておりますが、そういう呼びかけなんかも早い時期からやっても問題が起こるわけじゃなく、皆さんが納得してくれるんじゃないかなと思っております。

そういった意味から、ここは早急に対策を取っていただけたらありがたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。市長、どうですか。そこは。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 議員がおっしゃられるように、ここは家屋が密集、また連担した地域ということで、なかなか拡張することについては難しいというふうに聞いておりますし、もし歩道を2メートル程度広げた場合は、家屋の移転が約8棟ぐらい出てくるという中、そしてまた、一部3階建てのアパートまでも出てくるということでございますので、なかなかこの拡張対策についてはすぐには難しいということで、現在の対策といたしましては、通行規制とはなりませんけれども、1メートル程度のグリーンベルトを施し、今以上に車両の通行に注意喚起を促すよう取り組んでまいりたいというふうに考えているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 今、御説明のとおりグリーンベルト、なかなか聞き慣れない言葉なんですけど、路面にそういう通行区分を分けるというような感じかなと思っておりますが、ここは、何といいますか、それをやったからといって交通はスムーズにならないんですね。それは一つの対策かもしれません。

一番ポイントは、あそこを30キロ制限で走る運転手さん方、中型車か大型車までが、やっぱりここをどう止めるかということになると思うんですよ。そういうグリーンベルトぐらいは、もう一、二か月もしますと変わらんようになりますよ。悪いという意味じゃないです。それは確かに大事なことでしょ。

今市長の説明がありますように、拡張はできないんだと。基本的にですね。できないでしょう。立ち退きなんかはとてもじゃないですよ。逆に通学路を変えてくれんかというぐらいありますよね。本当言えばですね。そういうふうなことなんですけど、通学路を変えたら放課後の遊びは大丈夫なのかとこうなってくるじゃないですか。そこを含めますから、こういう話になっております。

要するに、強制的に速度を下げさせる方法、例えば道路を凸凹にするとかですよ。そしたらまた、それなりの専門家の意見とすると、自転車とかバイクとかそういった方が非常にリスクが高すぎるというような話も聞いております。おるんですけども、試験的にでも、どの場所かでもやってみる価値ってあるんじゃないかなと思っております。どうですか。市長、そこは。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず、今現在すぐやれるということで、担当課といたしましては、このグリーンベルトを計画すると。このグリーンベルトによりまして、やはりここは子どもたちの通学路であるということで、啓発をまずすることが重要だというふうに私自身も考えているところでございます。

そして、今、議員がおっしゃられるように、例えば凸凹を設けるといったところは、あちらこ

ちらでは、確かに一部段差を設けてスピードを出させんようにしているところはあるということでございます。私もそこはもう実際に走ったことがありますけども、そのことにつきましては、果たしてすぐできるのかということを含めまして、今後検討させていただければなと思っております。

詳しいことについては、また担当部長が答えます。よろしくお願いします。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、内山歩君。

○建設部長（内山 歩君） 先ほど議員がおっしゃられた段差を設けるということで、これはハンプというような形で、進行方向にある一定の段差を設けて、通行の際に車両がその段差によって注意をするということで減速するというような形で設けられているものでございます。

今回、その堀田線に関しましては、まず基本的にグリーンベルトという中で、そのハンプを設けた場合に、どうしても車両というよりも、自動二輪とかそういう部分の車両が果たして安全性が保てるのかということもございますので、今おっしゃられたように、その辺は、今後有効に機能するかどうかということも含めまして検討させていただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。それでは手始めに啓発運動のためにグリーンベルトを敷いて、皆さんの意識を高めていきたいということでよろしいですか。はい、ありがとうございます。

そしたら、できますなら、この辺は皆さんに周知徹底するべきだと思います。住んである方もそうなんですけども、いろいろあちこちからもう資材購入とかいろんな形で出入りが激しいわけですが、いろんなところに啓発運動をこういうことをやるんだということを御案内していただければ、いち早く皆さんが理解できるのかなと思っておりますので、そこも含めましてよろしくお願いしておきます。

それでは、今回、先ほど市長とのやり取りの中で、私がこの未来創造戦略についてお尋ねをなせようかなと思ったのかといいますと、今回、たくさんの課題といいますか、取組をなされていくわけありますが、政治公約する以上は、全てに布石を打っていくという捉え方だと思っております。そこはもう十分理解しての話なんです。

しかしながら、なかなか全てにおいては、なかなかできないじゃないですか、できづらい。布石を打つちゅうことは分かります。しかしながら最優先課題、市長もリーフレットにも書いておりますよね、最優先課題をやるんだと。先ほど、誰一人取り残さないから始まりまして、最終は人口流出を止めろと。思いは分かります。だからどうするのですかという話を今回は聞きたかったわけですよ。

今回、市長選もある中で、いろんな場所でいろんな話もなされてきたじゃないですか。そういう中で、どれか一つといいいますかね、どれを取ってもみんな大事な問題ですよ。大事な問題なんですけども、人口流出を止めながら定住人口を増やすために働く場所をつくるんだということの話になったときに、4年ってすぐ来るじゃないですかね。

だから、もう既にいろんな計画はなされてあると思うんですが、私としましたら、冒頭にも話しますように、実りある質疑応答をしたいわけですよ。だからどうするのかなということなんですよ。何を手始めにやるのかなと。

いずれにしても、全てこの市長の精神の下、やられるちゅうことは理解しておりますが、もう少し私に分かるぐらい優しく、こういうことから始めますよなんていう話はできませんか。市長、どうですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この選挙期間中に、私もあちらこちらで申し上げてきましたのが、今議員もおっしゃられるように、この人口減少対策が第一でございました。その中で、人口減少がなぜこれだけ激しくなってくるのかということに目を向けますと、やはり子どもの数が減少をしてきているといったことがよく目につくところでございます。

そういう関係で、まずどうかして子どもの数を増やすためには、カップルを増やしていかなければならない。そして、結婚にこぎ着けていかなければならないということで、このことにつきましては、県知事のほうとも時間があるときにいろいろとお話をさせていただいているところでありまして、県のほうとも力を合わせながら、今後いろんなイベント等も重ね合わせながら、このカップル数を増やしていきたいということで話をさせていただいているところでございます。

まだ具体的には、じゃあ、どんなことをするかとまでは固まってはおりませんけれども、ただ夏のイベントなり、または、いろいろな芸能関係を巻き込んだイベントなりといったことを今後検討していければなというふうに考えているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 具体的には、なかなか多岐にわたるところから、難しさもあるかと思います。今、言われるように、若い人たちを定住させるために県と相談しながらカップルづくりをするという一つの案が出ましたよね。これは従来からやってあることなんでしょうけども、それがどういうふうに波及していったかというのは、それなりの成果は出ていたんでしょうけども、どちらにしても、市長、魅力のある対馬にしくちやいけないですよ。

だからカップルづくりのためにどうして、お子様をつくるためにどうして、何かこう具体的にですね。うん。何か祝い金をびつくりするのを払ってやるとか、何かいいじゃないですか。面白みがあって。そのくらいの何か今までと違うものをですね。もう市長、今回で3期目になります

から、始まってえらい長いんですよ。だから、比田勝カラーを出してもいいんじゃないかということも申し添えさせていただいておきますね。

だから、今、言われるいろんな対策・施策は、市長が考えなされるとおりにやればいいんですけども、答えとして魅力あるものを中心にやっていただきたい。

私が、市長選のさなかのときも話をさせてもらいましたが、経済が安定しとかにやいかんわけですよ。財政が安定しとかにやいかんじゃないですかね。昨日も話があってございましたけども、サービス面の話とか出ておりました。そういったことから、やれる範囲とかそういったことはもう決まってくると思うんですよ。

だから、せっかくの機会でございますので、次回、お話するときがありましたら、こういったことをやってみようと、議会も何とか分かってくれんかというぐらいの具体的な施策を打ち出していただけのことを望んでおきます。

それでは、最後にくすぶり続けるこの核ごみの問題なんですけども、続けさせてもらいますね。あのですね、私も今回、市長選はこの核ごみは争点になっていなかったですよ。何も。それはいろいろ話があったかも分かりませんが、だからどうなんだという答えが出たように私は思っております。

そういう中で、島民皆様の良識ある判断、圧倒的多数ですよ。民意の力が証明したんじゃないかなろうかと私は思っております。それは市長のこれまでの功績と人間性もあるかも分かりません。しかしながら、それをお互いバックボーンにして闘いがなされたとは到底考えられません。

そういうことを私はなぜこの話をするかという、その推進派、各団体様とか個人の皆さんも全て協力をしていただきましたよ。それは先ほども言いますように、そういった中で大勝利を勝ち取ったという事実ですから。ここは。

だから、市長に課せられたものは大きいものがあるんじゃないかなろうかと私は思うから、なおさらのごとく市長が常々お話がなされてあったように、風評被害とか、対馬は風光明媚とか、自然豊かな整備に力を入れるしかないんじゃないですかということ。先ほど条例制定の話が出たりしておりましたけども。要するに市長がいろんな話をするのも大事でしょう。しかし全国知事会でも誰一人賛成していませんよ。

近日ありましたですね。そういう報道もあっておりました。これはどういうことかといいますと、私の考えなんですけども、政府は、このエネルギー、破綻した原子力対策なんです。これは、それを地方にぶつけるなんて何を考えておるかちゅう思いたいじゃないですか。

しかしながら、いろんな昨日も話がありますように、みんな理解しながら進めましょうという話やったですね。うん。幸か不幸か市長が4年間はしないと先ほども話があったから。ね。もうしないんですよ。だからするためにはまた違う方法もあるかもしれません。

だから私とすると、議会のねじれ現象も解きたいし、市長の考え方を皆さんには分かってもらいたいし、今回民意の力もはっきりしたと思うんですよ。だから思い切ってそういうものに踏み切ったらいかがなものかなと。

しかし、それはそれなりの角度を変えて皆さんの話があったとは理解はしております。しかしながら、安全・安心を担保する上でどうすべきかというのは、危険を取り除くということなんです。そこを学者ではありませんので何も理屈を勉強することは要らんじゃないですか。

だから人間がすることですから、どれが正しいか間違いかは分かりません。市長、自信を持ってくださいよ。民意の力が表したんですから。ね。数字は恐ろしいじゃないですか。2万3,000票が当日あったんですよ、市長。市長は2万票を取っとるんですよ。推移の話していますからね。ということは、もういい悪いじゃなくて、比田勝市長に預けるしかなかったわけですよ。それを考えながら今後どう取り組んでいくのかということを併せて話をしたいんですけども。

この結論から、条例をつくりなさいとか、いろんなことは話はしたいんだけど、それは皆さんの合意形成が整わない限りはできないという話をなされますか。どうですか、そこ。もう一度。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） このことにつきましては、先ほども答弁をさせていただきましたけども、この十分な議論と、やはり市民の合意形成が必要ではないかなということで、この動向等を勘案しながら、今後検討してまいることが理想かなといったことを私は思っております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 苦しいですか、市長。そんなに苦しんでいいですからね。分かります。気持ちは。分かるんですけどね。やっぱり4年間託したわけですから、託されたわけですから、託されたとおりに自分の意思を通していただきたいというのが、私の素直な気持ちです。

また、いろいろ言わはるようにその考え方があるから、それは否定も肯定もできません。できないんだけど、民意の力が今回は確実に数字として出てきたということは事実なんですから、だからそれも賛成も反対もみんなで市長にさせろという形になったことも事実じゃないですか。そういう中で自信を持っていろんなものに対処していただきたいということなんです。私がいいつも市長とやり取りする中で、欠けるものがあるんじゃないですかと言っているのはそこなんです。決断なんです。決断力。

皆さんも御存じだと思いますけども、市長選挙は1回あるたび、うん千万要るんですよ。そういうことも皆さんは、特にここにおる方々は皆さん理解しての話だと思っておりますが、そう

いうことから考えても、やっぱり我々は民間に問うということが、いろんなこういう物事を進めておく人たちの代表選手の姿かなと思っております。だから市長、結論が出ましたので、早期にそういったものを条例制定を強く望んでおきます。どうですか。もう一度、御答弁を。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） このことにつきましては、何度も申し上げますけども、やはりこの十分な議論があって、そして、市民の合意形成の上で、この条例制定を目指すということが理想であらうかと思っておりますので、そのような方向で今後進めてまいりたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。市長が話せるのはそのぐらいかなと理解はしております。しかし、一日も早く合意形成が整えるように動くことはできますよね。いろんな形でですね。

そういったことで、いろんな自分なりの知識を見聞録をやりながら、一日も早くそういう方向で、安心ができる、民意に答えが出せる政策を打っていただきたいとこのように思いまして、私の質問とかえさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、波田政和君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は11時からいたします。

午前10時45分休憩

午前11時00分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 皆さん、おはようございます。今回の定例会の一般質問、私が最終をしますので、市長、50分間よろしくお願いします。

それでは、新政会の船越洋一でございます。さきに通告をしておりました3点について、市長の考えを伺いたいと思いますので、明快なる答弁をお願いいたします。

まず、1点目に、厳原南部地域アクションプランの進捗状況と今後の計画について伺います。

2点目に、厳原東里の温泉の利活用について。3点目は、副市長2人制について。以上、3点を伺います。

まず、1点目の厳原南部地域アクションプランの進捗状況と今後の計画についてです。

行政と地区代表者による策定委員会が設置され、内山・瀬地区、豆酩地区、浅藻・内院地区と3つのエリアで構成され、地域住民が主体性を持ち、行政と団体とで協議・検討がなされている